



兵庫支部NEWS H21年 1月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tn078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

新年明けましておめでとうございます

本年も兵庫支部活動に宜しくご支援のほどお願い申し上げます

兵庫支部長 大村実良 及び兵庫支部役員一同



(神戸、諏訪山公園ビーナスブリッジから)

兵庫支部の皆様、
新年明けましておめでとうございます。



兵庫支部が尚一層の飛躍に向け、
順調な発展を続けていますことは、
偏に兵庫支部の皆様のご支援ご協力
のお陰と、心から感謝申し上げます

さて昨今の日本は米国発の国際金
融危機による景気の後退、消費の停
滞、更には政治の貧困などが複合的に絡み合い、出口
の分からないかつてない厳しい状況が続いております
こういった時にこそ、各種クラブ、イベントに積極
的に参加され「ほっと一息」入れて頂きたいと思うの
です。

大村支部長ともども「気軽に参加」出来る支部を目
指し、これからも支部運営に携わって参る所存ですの
で、皆様方には何卒引き続きご支援ご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。

平成21年元旦

北九州市立大学同窓会兵庫支部
副支部長兼幹事長 安徳信義



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

北九州市立大学同窓会兵庫支部の皆様
明けましておめでとうございます



今年は未曾有の世界不況がひたひたと忍
び寄ってきております。この困難な世の中
難問が横たわっております。同窓会もこの
影響を免れません。しかしながら、皆様には健康で幸せな生活をお迎えになれたこ
とでしょう。本年もこの困難な情勢に立ち向かい、支
部活動に益々精を出され、有意義な人生を送りましょ
う。三金会に参加される方を増やし今後の夢を語り合
いましょう。事務局としまして、現在行われている
囲碁の会の交流のように、各支部と少しずつ支部の情
報を交わし合い、北友会会報に載らない情報などもと
りいれたいと思います。

三金ゴルフでは海外(台湾)コンペを企画されてお
り、囲碁の会、歩こう会などの益々のご活躍とご発展
を祈ります。

兵庫支部事務局長 二宮慶治郎

ナヤ サール ムパラクホー

(新年おめでとうございます)

メダカ小学校の生徒と教師より



「囲碁の会」第13回リーグ戦終了

優勝は大岡7段・2位に山本2級

3月から始まった第13回リーグ戦は、2回戦総当たりで行われたが、欠席者等で対局が進まず10か月に及ぶロングランとなったが、12月例会でようやく決着をみた。

関西支部囲碁同好会から都留猛会長(32米英)3段と長谷部新5段(35商)が来訪され、また新しく「囲碁の会」に参加することになった赤松初夫氏(40米英)を加えて久々に賑やかな「囲碁の会」となった。

リーグ戦対局未消化分を優先的に進めてゆき、リーグ戦を終結した。

優勝は8勝2敗の大岡7段2位は6勝4敗の山本2級が表彰され、大村支部長から、それぞれに賞金が渡された。

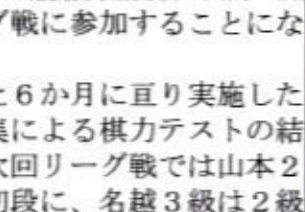
初参加の赤松氏は自己申告の3級として試し打ちを数局こなし、次回から3級として

リーグ戦に参加することになった。

また6か月に亘り実施した問題集による棋力テストの結果、次回リーグ戦では山本2級は初段に、名越3級は2級前原4級は3級、安徳8級は4級として臨むことになった。



(大盛況の12月例会)



(優勝賞金受領の大岡7段)

兵庫支部月例会12月「三金会」

12月19日(日)囲碁の会に続いて三金会が午後6時から開催された。囲碁の会にゲスト参加された関西支部の都留・長谷部両氏も参加。

本紙10月号で紹介された「幻の川」の著者桜田靖氏(本名小島吉晴、40米英)から掲載御礼として贈られてきた佐賀県小城市の銘酒「高砂」本醸造酒とにごり酒が振る舞われ、同氏が同人誌「葉隠研究」に寄稿された随想

「葉隠と誓願教育に思う」のコピーが配布された。

著書の発注について本紙で申込先を紹介されている

が、まとめて発注して欲しいとの要望で編集子を取りまとめて電子メールで西日本新聞社に連絡することになった。(発注者7名)久しぶりに安部高之氏(H1英)が出席し元気な顔を見せ、謝美華さんは特製の豚足の煮付けを持参し参加者に振る舞われた。

出席者(敬称略):大村、都留、長谷部、平間、前原、赤松、澤田、二宮、山本、名越、謝、以上12名



(三金会12月例会)

初日の出ハイキング

諏訪山公園グィナスブリッジと生田神社初詣

元旦の天気予報は曇り、初日の出は望み薄と言われていたが、朝起きて天空を見上げると、星が輝き、東の空に低い山の稜線のごとき雲があるのみ。これなら大丈夫と集合場所のJR元町駅へと急ぐ。



(午前6時JR元町駅出発)

午前6時元町駅を出発したのは、河野、二宮、安徳、名越、岡本、高須の6名。

兵庫県警本部や県庁のある官庁街を通り抜け、相楽園の前を通り山本通りまで緩やかな坂道を登る。そこから急坂

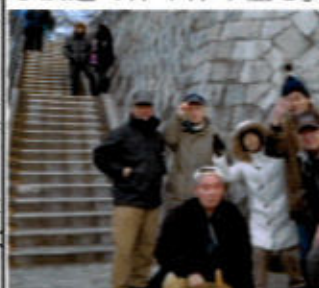
の参道を登ると諏訪神社だ。まずは神前で手を合わせて御神酒をいただく。

境内には太鼓が据え付けられて自由に打ち鳴らすことができる。今年の景気づけにと安徳氏が力強くドーンドンドンと。



(太鼓を打つ安徳氏)

神社からグィナスブリッジまでは距離はないがかなり急な坂道で休み休み登る。先行した安徳氏たちはブリッジ



の一番奥の石垣の下で持参の携帯コンロに点火して持参の日本酒を温めていた。東の空を見ると、雲がかなり上の方まで広がりを見せており、日の出まで相当

時間がかかるだろう覚悟する。日の出時刻から45分程過ぎた7時51分やっと雲の上に顔を出した。(一面の写真参照)

初日の出を拝み、山を下り、生田神社まで約1.5kmを歩き初詣に向かう。

早朝の為か比較的すいていた。兵庫支部の発展を祈願し、記念撮影をして解散する。



(生田神社に初詣)

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

中国 雲南茶苑

TEL 078-271-1168

神戸市中央区中山手通

1丁目24-4

ドラゴンズビルB1F

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時～

会費:3,500円

中国雲南省の家庭料理を
ご賞味ください

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時～



(山手幹線隣の北野坂、みなと銀行 地下1F)

加給年金は、奥さんだけでなく、子供がもらえる場合もあれば、夫婦ともにもらえなくなる場合もあるので、しっかりチェック!!

知っている人だけが得をする“知っ得”講座 —その3—

社会保険労務士 土屋眞

前回、加給年金についてお話をしました。この加給年金がもらえるのは一般的には配偶者である奥さんがいる場合がほとんどのようですが、ごく稀なケースとして、厚生年金の定額部分がもらえるようになったときに18歳未満か、または20歳未満で障害等級・1級か2級の子供さんがおられる場合に限り、子供さんの分として奥さんの分とは別に加給年金がもらえます。…稀なケースと言ったのは、普通なら年金受給年齢＝60歳以上では子供さんがおられた場合であっても、おおかた成人となっておられるでしょう。ですから一応法律上は、子供さんがおられる場合でももらえることがある…とご説明したわけですね。では子供さんが対象となる加給年金はいつまでももらえるのかといえば、18歳になった後の最初の3月31日まで、または障害のある(1級か2級)子供さんの場合は20歳となる誕生日まで支給されます。

そして、**要注意なのは、夫婦共に厚生年金の加入期間が20年となった場合です!** 加給年金の条件である厚生年金の加入期間が20年をクリアしたならば、夫婦ともそれぞれにもらえると思ったら大間違いどころか、この場合加給年金は、夫婦ともに、もらえないのです。そんな馬鹿な!?!とおもわれるかもしれませんが、そもそも加給年金は夫婦とも年金受給という所得水準を基本に、奥さんが65歳になり自分の年金がもらえるまでのつなぎ的な性格とお話しましたね。ですから、奥さんもしっかり働いて厚生年金に20年以上加入していたとすれば、奥さんご自身の年金もそこそこあるわけですから、一種の扶養手当的な加給年金は支給の必要がない、ということなのでしょう。老後＝年金での暮らしは、夫婦＝世帯を単位として制度設計がなされているというお話もしました。加給年金にしろ振替加算にしろその考え方にそってつくられていますから、加給年金をもらいたいと思うならば、例えば奥さんの厚生年金加入期間が20年になる前に勤めを辞めてしまうことですね。加入期間や年齢にもよりますが、この先5年、10年と勤め続けるならば話は別ですが、20年を少しこえてから辞めるよりも19年あたりで辞める方が、加給年金(夫)→振替加算(妻)というバトンタッチ式にダブルで支給金がもらえますから、お得!なのではないでしょうか。

また一つだけご注意いただきたいのは、年齢＝生年月日によっては、中高年の期間短縮措置という特例があり、昭和26年4月1日以前に生まれた方については40歳以降(女性は35歳以降)の厚生年金の加入期間が19年～15年あれば加入期間＝20年とみなすという特例措置なので、これに該当する場合は20年になっていなくても15～19年で＝20年とみなされて加給年金の支給はアウト!!となる場合もありますので、この点だけちょっと気をつけなければなりません。

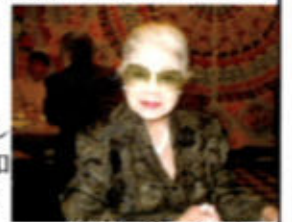
同窓生最年長山中道子さん参加 2008年「シャンティ」忘年会

暮も押し詰まった感のある12月26日(金)午後6時から、JR芦屋駅ビルモンテメール5F「シャンティ」に於いて、同窓生を含む経営者安德氏の友人等十数人が集まり、残り少ない2008年の一夜を楽しんだ。曜日の関係で、御用納めが26日となり、現役の人たちにとっては参加し難かったようだ、とは主催者安德氏の弁。

本紙12月号に掲載の詳細を見て、芦屋市内に住む山中道子さんが参加を申し込まれた。平成16年6月に同所で開催された支部総会に参加されて以来である。

山中道子(旧姓岡野)さんは昭和24年卒の1期生である。

当時は小倉外事専門学校と称し「大学50年史」によれば、昭和21年9月に入学式で米英科189人、中国科93人、合計282人の



(山中道子さん)

新入生のうち女学生5人が含まれて、年齢も18歳から28歳だという。ご本人の話では当時の新入生の中では最年長だったと思うと。何しろ大正4年生まれで現在93歳である。入学時は31歳ではなかったかと思われるが…。

足腰もしっかりとされて、頭脳明晰、記憶力抜群で昔話を聞かせて頂いた。現在、大きなお屋敷に一人住まいで、毎日掃除・洗濯等の家事一切を一人で切り盛りしておられ「毎日忙しいのよ」とのこと。それが健康を保つ秘訣となっているのかも。

メダカ小学校に支援金

北九州市職員ボランティア団体から

去る1月7日(水)北九州市役所本庁5階のプレゼンテーションルームにおいて、メダカ小学校への支援金贈呈式が開催された。

北九州市職員約200名で構成する国際交流・協力ボランティア団体「翼の会」と、若松区を中心に活動するボランティアグループ「ユー」が12月に留学生支援チャリティ「クリスマス・コンサート」を開催しその収益金を、北九州学術研究都市で留学生支援に携わっているボランティアグループ2団体と、インドのメダカ小学校に支援金として寄贈することとなったものである。

メダカ小学校経営の高森千賀子氏(44米英)は、急遽帰国し贈呈式に出席し、学校経営についていろいろ質問を受けたり、今後の文房具や衣類等の収集が約束されるなど、これが縁で支援の輪が広がりそうだ。

年金“知っ得”講座—その3—(つづき)

年金ってほんとうに複雑で、一筋縄ではいかない厄介なものですが、だからといってわからぬままに放っておいたら取り返しのつかないこともありますので、そこは手前味噌になりますが餅は餅屋ということで、社会保険事務所や私たち社会保険労務士にご相談なさるといいと思います。

歩こう会12月例会(第88回)

京都大原三千院と寂光院

前日まで雨予報で心配されたが、雨に遭ったのは、過去に一度だけという「歩こう会」の威光で、雨雲も恐れをなしたようだ。

12月14日(日)曇り空の京都駅に午前11時に集合し、民営・京都バスにて大原へ向かう。参加者は二宮、安徳、元田、名越、岡本の5名である。

京都には市営・民営のバスが走り、折角用意した1日乗車券が市営用で使えないというハプニングあり。途中、大文字のお山を車中から眺め、約1時間で大原バス停に到着。



(大文字を車中から)

既に12時を回っており、まずは腹ごしらえをしてからとバス停付近の蕎麦屋に入り、京名物鱈そばを発注。ビールと日本酒も!! 歩く前からいいのだろうか



(京名物鱈そばで腹ごしらえ)

昼食を終えて三千院へと向かう。道道“なるほど大原の里”と称した立札が立ち、今は一面の大根畑には



(大原女人形を囲んで)

程なく三千院に到着した。紅葉がわずかに残って彩りを添えていた。拝観料は700円。靴を脱いでビニール袋に入れて持ち歩き、客殿・辰殿と見て回る。



(三千院への入口で)

写経をさせる個所もあり安徳氏はトライした由。庭園が素晴らしくやたらとカメラのシャッターを押す。順路標識に従って歩いているうちに出口へ。有清園と称する庭園に出た。

やがて往生極楽院の前にやってきた。立札には“勢至観音両菩薩の倭坐(やまとすわり)と舟底型天井が有名”とある。倭坐とはどんなもの?と入ってみる。



(庭園を背景に)

正座をしているかの様に足を折り曲げた姿勢で阿弥陀如来の両側にそれぞれ侍っておられる。通常は胡坐?立像?この形は珍しいのか。

順路に従って歩いていつの間にか一番上(奥)の観音堂までやってきた。門前で境内図を見た時はあの上まで上るのはシンドイなどちらっと頭をよぎったのだが意外と楽だった。あとは出口までトントンと坂道を下るだけ。出口近くには“金色不動茶”の無料接待所があり一服して



皆さんが揃うのを待つ。



(三千院山門前にて)

揃ったところで山門の前で記念撮影(写真左)案内図によるとも少し奥に行けば勝林院、実光院、宝泉院などがあり、法然上人の「大原問答」で知られているとか。

すでに2時過ぎで時間的余裕がなさそう、直ちに寂光院へ向かうことにして、再び呂川沿いの道を引き返し大原バス停まで戻り、そこから細い路地を通り抜けて約1キロだ。

寂光院は「安徳」天皇の母君、建礼門院が平家滅亡後、隠棲した場所として知られている。平成12年5月火災により焼失したが、平成17年に復元完成し落慶法要を営んだとのこと。

すでに2時過ぎで時間的余裕がなさそう、直ちに寂光院へ向かうことにして、再び呂川沿いの道を引き返し大原バス停まで戻り、そこから細い路地を通り抜けて約1キロだ。



(寂光院にて)

寂光院を後にして、大原の山里のどこか懐かしく感ぜられる風情を楽しみながら、再び大原バス停まで」引き返す。



(大原の里をバス停に向かって)

京都駅行きバスを待っていると、地下鉄国際会館駅前ゆきのバスがやってきたので急遽予定変更してこのバスに乗り地下鉄経由で京都駅に向かう。20分以上の時間がセーブ出来た。だからという訳ではないが駅地下



一杯、元気を取り戻して、市営バスにて西大路五条まで、というのは半導体メーカーのローム社が周辺の道路をイルミネーションでライトアップして人気を博しているという



ので見物しようということになったのだ。道路は車両の交通管制なく大渋滞していた。イルミネーション見物後

イルミネーション見物後



近くの居酒屋で疲れを癒しJRで帰る人、阪急で帰る人に分かれて帰路につく。ご苦労様でした。